

6号機における警報の発生について

平成17年4月7日午後5時40分、定格熱出力にて運転中の6号機で、「地震加速度大*¹」および「原子炉A系自動スクラム*²」の警報が発生いたしました。

ただちに「地震加速度大」警報は自動的に解除され、当時地震の発生はなくプラント運転状態も安定していたため、「原子炉A系自動スクラム」警報の解除作業を行い、警報は解除されました。

原因は計器の誤動作と推定しておりますが、今後詳細な原因調査を行い、対策を講じる予定です。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 地震加速度大

原子炉建屋内に設置された地震計が高震度を感知したとき、原子炉を緊急停止するために発生する信号。

* 2 原子炉A系自動スクラム

原子炉を緊急停止するための信号が片系統だけ発生した状態であり、制御棒は動作しない。スクラム信号はA・B両系が同時に発生することで制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。